



会員をふやし、社会参加の輪を拓げよう。

第 52 号

発行 者

公益社団法人古賀市
シルバー人材センター
広 報 委 員 会

古賀市千鳥 2 丁目 21-3
T E L 942 - 6 9 9 4
F A X 942 - 6 9 0 2
e-mail silver @ kogasc.com

基本理念 自主・自立・共働・共助

暑中お見舞い申し上げます



大根川河口

平成26年度 定時総会

○5月27日(火) ○古賀市中央公民館



理事長 園 靖則

理事長挨拶

少子高齢化に伴う人口減少に歯止めがかからない現状の中で、地域社会の活力を維持していくためには高齢者が生涯現役として、その知識・経験・技能などを活かし地域社会の一員として生き生きと働き、学び、ボランティア活動など多様な形で社会参加することが求められています。

そこで、シルバー人材センターの役割は益々重要になります。古賀市シルバー人材センターでは、一般の受託事業や独自事業に取り組んでいます。センターの事業の確保・拡大、新事業の開拓、会員の増加、女性の就業機会の拡大などを図るためにも会員の皆様一人一人の力の向上、そして事業への積極的な参加が必要です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◇議 事

第1号議案 平成25年度事業報告

第2号議案 平成25年度決算報告

第3号議案 役員を選任

会議案は満場一致で承認可決されました。

◇報告事項

平成25年度予算実績比較報告

平成26年度事業計画

平成26年度収支予算



出席者受付



ロビーにて



熱心に聞く出席者

総会参加状況 □出席者 91名 □委任状 188名
※返信無しが残念ながら58名いました!!

会員活動



シルバー農園 (園児との菜の花摘み)



介護講習会



会員親睦旅行



会員作品展

ワンコインサービス ～事業スタートから 1 年を迎えて～

昨年の 7 月にスタートしたこの事業も約 1 年が経過し、順調に進められているところです。また、利用者や市役所等からも感謝の言葉をたくさんいただいております。

今後は、更にお受けできる作業内容を精査し、地域社会のお役にたてればと考えています。なお、この 1 年間の利用状況については、下記のとおりです。

- この事業に従事する会員数 40 名 (男性 : 23 名、女性 : 17 名)
- 利用件数 25 件 (30 分以内 : 20 件、30 分以上 1 時間以内 : 5 件)
※従事した会員 : 延 29 名
- 利用者 1 人暮らしの方 : 21 件、高齢のご夫婦の方 : 4 件



登録会員意見交換会 ○6月 14 日 (土) ○サンコスモ古賀

ワンコインサービス

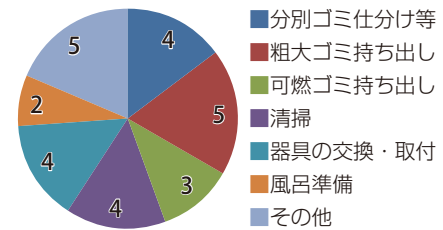
生活の中のおこぼれを
おまかせください

手助け隊

古賀市にお住まいの 65 歳以上の夫婦世帯または一人暮らしの方、一人暮らしで身体の不自由な方を対象に身の回りのちょっとした作業をお手伝いいたします。

お手伝いします！ぜひご利用ください

依頼作業内容 (重複あり) 27 件



職場紹介



▲古賀市民体育館 (受付)



▲駐輪場 (古賀駅)



▲エコロの森 (自転車組立作業)



▲古賀市勤労者研修センター (受付)

イオンスーパーセンターより感謝の言葉

○お客様からの感謝の声

私が手を滑らせて、たくさんの氷を床にこぼし困っていた時、カート運びのおじさんが、一緒に掃除を手伝ってくださり助かりました。大変ありがとうございました。



カート整理
平山 靖彦会員

○店舗からのコメント

日々作業に追われる中で、笑顔と挨拶という基本を忘れずに黙々と取り組んでいらっしゃる姿・行動が、今回のようなお褒めの言葉を頂戴することになり感謝いたしております。

ちょうど現場を通りかかり急いで対応しました。少しでもお役に立てて嬉しく思います。

安全は全てに優先する(事務局だより)

みなさん、右の事故報告(1)(2)の原因は为什么呢？安全委員会で検討してみました。

事故報告(1)

- ・落ちた穴は草に覆われていて見えなかった。
- ・穴の上部は小さな穴であったが下部は大きく深さは90cmもあった。
- ・ケガをした会員との距離は上下4mであったが落ちた場所からは3mと近くなってしまった。
- ・背負い式草刈機であったため、肩掛け式よりもより遠く跳ね返ってしまった。

事故報告(2)

- ・切り落とす枝にロープを掛けていなかったことと一気に切断してしまった。
- ・安全帯とヘルメットは着用していたが、安全帯の転落防止フックを掛けていなかった。
- ・細切れに切断せず幹の根元から切断してしまった。

以上のことから、経験や知識はあっても、「慣れ」「うっかりした」が事故を引き起こすことに繋がるのではないのでしょうか。「しらない」「できない」は、研修や講習を受ければ知識や技能を身に着けることができます。しかし、「やらなかった」「つい、うっかりした」では、通院、入院よりもっと恐ろしい重大事故発生につながります。今一度安全就業について真剣に考えましょう。

事故報告(1) 草刈

みかん畑の斜面を三人で、スタート時間をずらして草刈機を使い作業を始めた。

ところが、上段の後から刈り始めた会員が、草に覆われ今までになかった目に見えない穴(山芋を掘ったと思われる大きな穴)に片足がはまり、その勢いで下段に転げ落ちてしまった。下段には先に刈り始めた会員が先行していたが、転げ落ちた会員の刈払い機の回転刃が先行していた会員の左足ふくらはぎに当たり切り傷を負わせた。救急搬送され入院となった

事故報告(2) 剪定

九尺アルミ三脚に上り、高木の枝を幹の根元から伐採したとき、切断した枝の根元が、上っている三脚の足元に当たり、その反動で三脚より転落した。

救急搬送となり入院した。

安全大会・接遇研修会開催 ○8月19日(火)10時~12時 社会福祉センター(千鳥苑)

安全は、高齢者が就業等の活動を通じ社会参加するうえでも最も重要な課題であり「安全は全てに優先する。」の理念のもと、高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう安全意識の高揚と啓発活動を行うため安全大会を開催します。

また、会員の皆様の仕事ぶりは、親切、丁寧と好評を得ております。しかし、一部の方による一般市民とのトラブル、お客様に対する言葉づかい、屋外作業でのトイレの問題等苦情が寄せられているのも事実です。ルールやマナーに留意し、相手側の人権を尊重する心遣いを身に着けて頂くために接遇研修会を開催しますので両方ともたくさんの参加をお願いします。

◎申込み締切は、平成26年8月8日(金)です。お電話でお申し込みください。

案内は既にお届けしています。

安全標語

古賀市シルバー人材センターは、毎月1回の安全パトロールを始め、毎年7月

を安全就業強化月間と定め安全就業、交通安全に取り組んでいます。その一環として安全標語の募集を行いました。その結果7名の会員から14点の応募がありましたので、10点を選考し連合会へ応募しました。その作品を紹介します。

- ・服装を正すゆとりが 身を守る 森田 誠一 会員
- ・その焦り それが心の赤信号
- ・作業前 目視で確認 安全行動 富山 巽 会員
- ・安全と思っていても 再度点検 藏井 甫 会員
- ・何時までも 若きつもりが怪我をする
- ・かかり前 だろ判断事故のもと 檜崎 辰雄 会員
- ・やってみて 無難かどうか確かめる
- ・事故が待つ 早る気持ちが致命傷 大坪 茂樹 会員
- ・やる気でも 体はそこまで動かない
- ・一人一人がルールを守る安全社会 境 九夫 会員

今後の主な行事

- 7月17日(木) 介護講習会(当センター)
- 8月19日(火) 安全大会・接遇研修会(千鳥苑)
- 9月(予定) 調理講習会(サンコスモ古賀)
- 9月(予定) 日帰り旅行(検討中)

編集後記

みなさんと結ぶ架け橋「シルバーだより」
一字一字わかりやすく、積み重ねていくことで広報委員の責任を実感しております。
これからもみなさんに愛される魅力的な「シルバーだより」を作成し伝えられるように努力していきたいと思います。
K・A